

人間科学科について知りたい方のための

フリーペーパー『らいふみる』

2021年8月20日発行

【学科の学びを理解すること】

統合型選抜入試、高大接続入試の時期が近づいてきました。両入試志願者にとって大切なのは、学科の学びについてよく理解し志望動機を明確にすることです。人間科学科の学びは学融合的なところがあり、ややわかりにくいところもあります。

第4号では、学びの集大成でもある卒業論文について紹介します。過去の卒業論文のタイトルをみるだけでも学科の特徴がよく実感できるのではないのでしょうか。また、選択必修科目となっている1年次の重要な3つの授業について紹介しました。心理学、社会学、身体科学の特徴や学び方についてイメージをつかんでいただければと思います。興味がある分野については、紹介した本を手にとっていただき一読していただければ、よりよくそれぞれの分野が理解できることでしょう。

学科の学びに関する情報は、第1号から第3号の『らいふみる』も参考にしてください。学科ブログに掲載されています。



学科キャラクター『らいふみる』くん

【人間科学科の卒業論文】

人間科学科の卒業論文は3年次の専門演習Ⅰ・Ⅱの担当教員がそのまま指導にあたります。多くのクラスでは3年生のときから、4年生の中間報告を聞いたり、卒論テーマに関する報告を行うなど、卒業論文への準備が始まります。4年生には卒業論文のための授業はないのですが、同じクラスのメンバーで集団指導を受けたり個人指導を受けたりしながら研究を進めていきます。もちろん教員のサポートはありますが、テーマの決定、先行研究の把握、リサーチ計画の決定、データの収集、分析、執筆までを自分自身で行うことが求められます。人間科学科の卒業論文の特徴は、心理学、社会学、身体科学の各分野にまたがる多様なテーマが研究の対象となっていることです。各分野の卒業論文のテーマや取り組みの特徴について紹介しましょう。

【心理学の卒業論文】

心理学の卒業論文は、4名の教員のゼミごとの特色を背景にしつつも、個々の学生の問題意識を反映した、バラエティに富んだ論題が並びます。なかには、ゼミに配属される3年生のうちから「〇〇の問題に取り組みたい」と相談に来て、はやいうちから企画をあたためる学生もいます。手法としては、自ら実験や調査をデザインし、取得したデータをもとに主張を展開するものや、先行研究のデータの2次分析をおこなったり、新旧の文献を幅広くレビューしたりなどがあります。どんなタイプの卒論でも、基礎概念・理論やこれまでの研究の枠組みを振り返りながら、自分の研究を位置づけ、その特徴を論じていくことは大切です。実験の方法には、さまざまな種類の刺激に対する評価や反応を記録したり、脳波や筋電位、眼球運動を記録したりなどがあります（第3号参照）。オンラインでの実験や調査も工夫しながら取り入れています。

【心理学の卒業論文のタイトル】

- ・視点を切り替えることで創造性が高まるか
- ・特定の友人との繋がりを常に求める大学生～オンもオフラインも友人ファーストの学生の恋愛観～
- ・絵画の瞬間的な情報処理
- ・大学生のちょっとした幸福感に関連する要因の検討
- ・隣の芝生は青く見えるか—Instagramにおける社会的比較が自尊感情に及ぼす影響—
- ・ペットに対する飼養態度
- ・愛着度と心理的効果の関連性について
- ・大学生の高齢者に対する潜在的意識
- ・日常と映画の中のDark Triad
- ・大学生におけるオタク活動と自己愛傾向との関連性
- ・集団主義を支える排除回避と調和追求—事象関連電位を用いて2つの異なる認知過程を探る—
- ・私たちはなぜ自粛警察を大目にみてしまうのか—内在的公正世界信念に基づく被害者非難のメカニズム—

【社会学の卒業論文】

社会学系のゼミで卒業論文を書く学生のテーマの特徴はユニークかつ非常に多岐にわたることです。卒業論文のテーマは学生自らがテーマを選び1年ほどにわたって、リサーチや分析、執筆活動までを行います。まず大切なのは長期間にわたり自分が真剣に取り組めるテーマを選ぶことです。もうひとつのポイントはこれまでの社会学者たちが取り組んできた問題や概念を使って分析ができるテーマであることです。教員として卒論のテーマ選びで期待しているのはオリジナリティの出せるテーマを選ぶことです。オリジナリティとは、その論文を読まなければわからないことがわかるということです。とはいえそれほど難しいことではなく、具体的で観察可能な社会現象を選び自らデータを集めて考察をすればよいのです。リサーチの方法も多様で、質問紙調査や、インタビューや観察、そしてさまざまな文化的創作物についての内容分析などが行われています。

【社会学の卒業論文のタイトル】

- ・家族におけるバスタオルの使い方—父娘関係を中心に—
- ・親子間のメールに関する内容分析
- ・18歳成人制は成人式をどう変えるのか？
- ・衣服の購買行動における後悔の規定要因
- ・共感性が迷惑行為の認知と実行頻度に及ぼす影響
- ・大学生における自己評価と社会的比較
- ・ネット炎上問題に対する企業のアルバイト教育の実態
- ・荒川もんじゃの社会史とローカルアイデンティティ
- ・ネパール料理店経営者のナショナル・アイデンティティ
- ・震災遺構の表象がもたらす記憶継承の可能性
- ・なぜ狭山茶は日本農業遺産に認定されなかったのか？
- ・大学生は友人・恋人に何を期待するのか？
- ・宝塚ファンによる出待ちの秩序
- ・ハロウィンにみる日本人の異文化受容過程

【身体科学の卒業論文】

身体科学系では食事、睡眠などの生活習慣、運動が身体に及ぼす影響、といったテーマで研究が行われています。研究では実験や測定、調査などを活用しますが、複数の方法を用いて多面的な検討を行う学生も多くいます。3年生の春休みは就職活動にも力を入れる時期ですが、学生たちは卒論についても積極的に取り組んでいます。この時期に関心のあるテーマにもとづいた研究計画を考え、予備実験、予備調査を行って課題を明らかにしていきます。課題がないことは稀ですので、ほとんどの学生が研究計画の見直しを行ったうえで本実験、本調査に進んでいきます。さて昨年度に提出された卒論のタイトルを眺めてみると、心理学的な視点、たとえばストレスや感情、気分といった指標から検討した研究が多いことがわかります。このことは人間科学科が目指す「複眼的な視座を持つ」ことが学生たちにしっかり根付いていることを示していると考えています。

【身体科学の卒業論文のタイトル】

- ・大学生アスリートの生活習慣が主観的睡眠感に及ぼす影響
- ・タイピング課題によるストレスが大学生の睡眠の質に及ぼす影響
- ・アスリートにおける大会時の緊張およびセルフメンタルコントロールについて—カヌースプリント競技者に対する実態調査から—
- ・新型コロナウイルスがもたらしたフルコンタクトスポーツにおける活動の変化—カバディの現状から—
- ・大学生の食生活の実態と食事に対する意識について
- ・ASMRはストレスを軽減できるか？—心理的・生理的側面からの検討—
- ・褒められて伸びるタイプと叱られて伸びるタイプ—性格特性と世代の違いに着目して—
- ・大学生における入浴習慣の違いが主観的睡眠感およびポジティブ・ネガティブ感情に及ぼす影響について
- ・コロナ禍におけるライフスタイルと行動意識の変容
- ・短時間の静的運動が気分に与える影響—15分間のヨガ運動による検討—

【授業紹介：心理学の基礎】

皆さんは「心理学」にどのようなイメージがありますか？「心理テストをやって人の心がわかるようになる」、「犯罪者の心を研究している」、「心の病の研究をしている」…皆さんのこれまでの経験によってそのイメージは多様です。

「心理学の基礎」では、4年間の心理学に関する学習の礎になるように、科学としての心理学の基本的な内容を講義します。まず、心とは何か、科学とは何かを考えます。次に、心理学の各領域について、それぞれの基礎的な理論を概説しながら、そのような理論が心理学の応用の分野や社会においてどのように生かされているかを考えていきます。

人間科学科では、1つの学問領域のみを扱うのではなく、多様な学問領域を通して複眼的な視野を養うことを主眼としています。受講生が日常的に感じたり、考えたりしていることを紹介しながら、「心理学の基礎」で学んだことが他の学問領域ともつながりができるように授業を展開しています。

【授業紹介：社会学の基礎】

「マインクラフト」というゲームをご存じですか。大自然に投げ出されたプレイヤーが、食料をとったり、家を作ったり、登場する人間と対面したり、まさに社会を作り上げていくシミュレーション・ゲームです。社会学の基礎で取り上げる「社会秩序はいかに形成されるか？」を扱う回では、皆さんも中学・高校で習った社会契約論の内容を、この「マインクラフト」に見立てて、学生に偉大な思想家たちと同じシミュレーション体験をしてもらっています。

社会学の基礎は1年次の基礎科目で、なんと2コマ続きの200分で行われる点が他の大学にあまり類を見ない特徴です。講義の中で、この時間を贅沢に使い、ユニークな実習を取り入れ、他では味わいがたい学びを経験できるわけです。そして、いつのまにか専門的な知識が身につけられます。授業の各回では、「社会のチカラで予言は実現することもある!？」、「あなたも日常生活の演技俳優？」など、コンセプトとなる問いを手がかりに授業を展開しています。

【授業紹介：身体科学の基礎】

人間科学科では1年生では学科の学びの基礎となる科目を中心に、さらに学年進行とともに専門性がより高まった発展的な内容の授業を開講します。私は「身体科学の基礎」という授業を担当していますが、人間科学科の学生の多くが心理学と社会学に関心があるので、「身体科学」という分野への関心はあまり高くないようです。さて授業は「人体のしくみとはたらき」について学んでいきますが、日常生活習慣や健康との関連が強い領域を取り上げます。具体的には「動くこと」に関わる骨格や筋、「生きること」に関わる呼吸や循環、「食べること」に関わる消化吸収、が中心となります。医療系の学科でもないのにこんな知識が必要か？という疑問もあると思いますが、前述したもののすべてが人間、すなわち皆さんの身体に存在しているのです。それらが一生懸命に働いてくれることで私たちは元気に暮らすことができるのですから、感謝の気持ちを持って学んでもらえればな、と思いながら授業をしています。

【人間科学科のおすすめの本】

人間科学の先生たちが、皆さんに向けておすすめ本を考えてみました（右欄）。ここでは、一部だけですがおすすめポイントを紹介します。まず心理学の本として、デイヴィッド・イーグルマン『あなたの知らない脳——意識は傍観者である』は、近年の脳科学・神経科学の知見を楽しみながら振り返りたい方や、人間観を考えてみたい方におすすめです。次に社会学の本として、奥村隆『反コミュニケーション』は、自称コミュニケーション嫌いの著者が、学生と高名な社会学者たちとの架空の対談を通して、コミュニケーションとは何かに迫ります。ユン・ウンジュ『女の子だから、男の子だからをなくす本』は性別で生き方が決められてしまう問題性を考えさせられます。身体科学の本として、杉原隆・河邊貴子（編著）『幼児期における運動発達と運動遊びの指導』がおすすめです。この本によると、自由に外で遊んでいる園の子どもは、運動プログラムを指導者主導で実施している園の子どもよりも体力や社会性が高いそうです。そして情報学の本として、村上陽一郎『あらためて教養とは』がおすすめです。こんなに、本当に必要な情報や知識を選ぶことは簡単ではありません。教養を考えることは、まさにそのために必要なことと言えるでしょう。

【おすすめの本のタイトル】

●心理学

- ・デイヴィッド・イーグルマン『あなたの知らない脳——意識は傍観者である』早川書房、2016年。
- ・ロジャー・R・ホック『心理学を変えた40の研究——心理学の“常識”はこうして生まれた』ピアソンエデュケーション、2007年。
- ・山岸俊男監修『徹底図解 社会心理学——歴史に残る心理学実験から現代の学際的研究まで』新星出版社、2011年。
- ・外山紀子・長谷川智子・佐藤康一郎編『若者たちの食卓——自己、家族、格差、そして社会』ナカニシヤ出版、2017年。

●社会学

- ・奥村隆『反コミュニケーション』弘文堂、2013年。
- ・ユン・ウンジュ『女の子だから、男の子だからをなくす本』エトセトラブックス、2021年。
- ・見田宗介『社会学入門——人間と社会の未来』岩波書店、2006年。
- ・松永伸太郎『アニメーターはどう働いているのか——集まって働くフリーランサーたちの労働社会学』ナカニシヤ出版、2020年。

●身体科学

- ・杉原隆・河邊貴子編著『幼児期における運動発達と運動遊びの指導』ミネルヴァ書房、2014年。
- ・三池輝久『赤ちゃんと体内時計——胎児期から始まる生活習慣病』集英社、2021年。

●情報学

- ・村上陽一郎『あらためて教養とは』新潮社、2009年。
- ・ピーター・バーク『知識の社会史——知と情報はいかにして商品化したか』新曜社、2004年。

【人間科学科の就職活動と就職先】

人間科学科の就職業種は、サービス業・小売業・卸売業を中心としながら、製造業、不動産・賃貸業、など多岐に渡ります。以下には、主要な就職先一覧として、過去3年間（2018年～2020年卒業）の東京証券取引所の上場企業（東証一部・二部）への就職先と公務員の採用を掲載しています。

人間科学科では統計学や科学的研究手法を学ぶため、データを適切に扱うことのできる文系学生として、特に情報通信業からの採用が急増しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、オンライン面接を主とする就職活動となりましたが、大学で学んだことを積極的にアピールし、上場企業からの採用を獲得する学生も多くいました。近年では、銀行・信用金庫や公務員への就職が増加傾向にあります。以下の表には掲載されていませんが、過去3年間で5社の信用金庫へ就職をしています。

●サービス業

（株）アインホールディングス／アパホテル（株）／共同エンジニアリング（株）／（株）コシダカホールディングス／（株）JALナビア／新日本テクス（株）／（株）スタッフサービス（株）／セコムジャスティック（株）／総合警備保障（株）／（株）ソラスト／タイムズコミュニケーション（株）／ティケイ（株）／（株）パルグループホールディングス／（株）リクルートスタッフィング／リゾートトラスト（株）

●小売業

青山商事（株）／茨城トヨペット（株）／（株）いなげや／ウエルシア薬局（株）／（株）オオゼキ／（株）カインズ／（株）コメリ／（株）スギ薬局／（株）トレジャー・ファクトリー／日本調剤（株）／（株）ノジマ／はるやま商事（株）／（株）ビックカメラ／（株）プレナス／（株）ペルーナ／（株）ホンダカーズ神奈川北／（株）メガネトップ／（株）ライフコーポレーション／ロクシタンジャパン（株）

●情報通信業

（株）イー・データ／キーウェアソリューションズ（株）／コムテック（株）／システムクリエイト（株）／ディップ（株）／（株）日本システムコンサルタント／（株）マクロミル

●卸売業

（株）IDOM／（株）オートバックスセブン／（株）サンワカンパニー／（株）システナ／（株）ジンズ／（株）ジンズホールディングス／（株）フォーバル／横浜冷凍（株）

●医療・福祉

IMSグループ（板橋中央総合病院グループ）／（株）愛総合福祉／（社）恵和／（医）湘美会 湘南美容クリニック／（株）ベネッセスタイルケア／（独法）労働者健康安全機構

●不動産・物品賃貸業

（株）エイブル／ケイアイスター不動産（株）／スターツコーポレーション（株）／住友不動産販売（株）／日本パレットレンタル（株）／ハウスコム（株）／（株）毎日コムネット

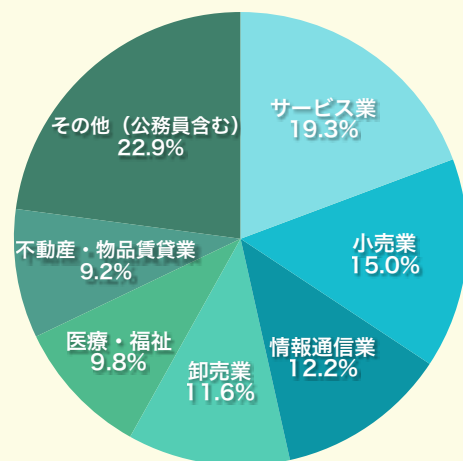
●その他の業種・公務員

（株）秋田銀行／岡部（株）／（株）ダイショー／大和ハウス工業（株）／第一製菓パン（株）／大和冷機工業（株）／（株）丸和運輸機関／つくば市役所／豊後高田市役所／警視庁／熊本県警察本部／長崎県警察本部／防衛省海上自衛隊／自衛隊体育学校

【人間科学科での学びと就職活動】



人間科学科には、「仕事の社会学」や「職場の社会学」などの仕事をテーマにした授業があるため、学生は働くことについて深く学び考えたうえで、就職活動に取り組んでいます。上の写真に並べられている本は、それらの授業に関連する参考図書です。



就職先企業業種（過去3年間）

【編集後記】

*『らいふみる』の2021年版の第4号（2021年8月20日発行）を発行いたしました。今回は主に人間科学科の卒業論文や就職先などについてご紹介いたしましたが、今後も『らいふみる』を通して人間科学科のことについていろいろとご紹介していきたいと思いますので、ぜひご覧いただけたらと思います。

*『らいふみる』は大正大学心理社会学部人間科学科について知りたい方のためのフリーペーパーです。本冊子の記事や写真などを無断で複製・転載しないようお願いいたします。また、人間科学科について詳しくは、下記のURLか右記のQRコードから学科のブログをご覧くださいと思います。

（人間科学科ブログ： https://www.tais.ac.jp/faculty/department/human_sciences/blog/）

